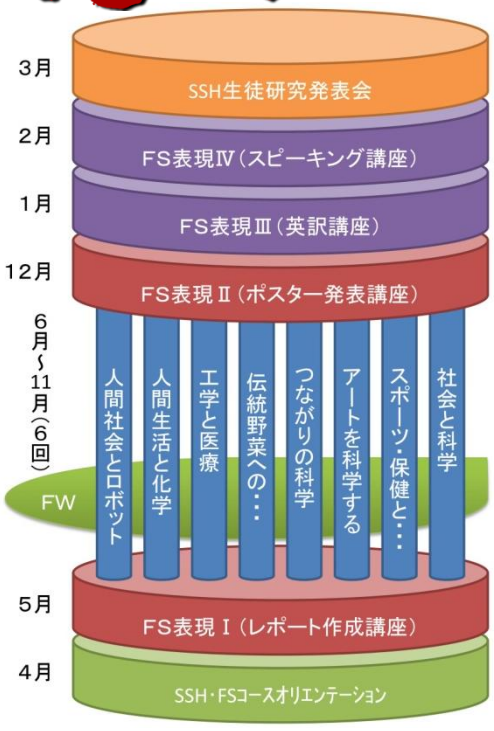
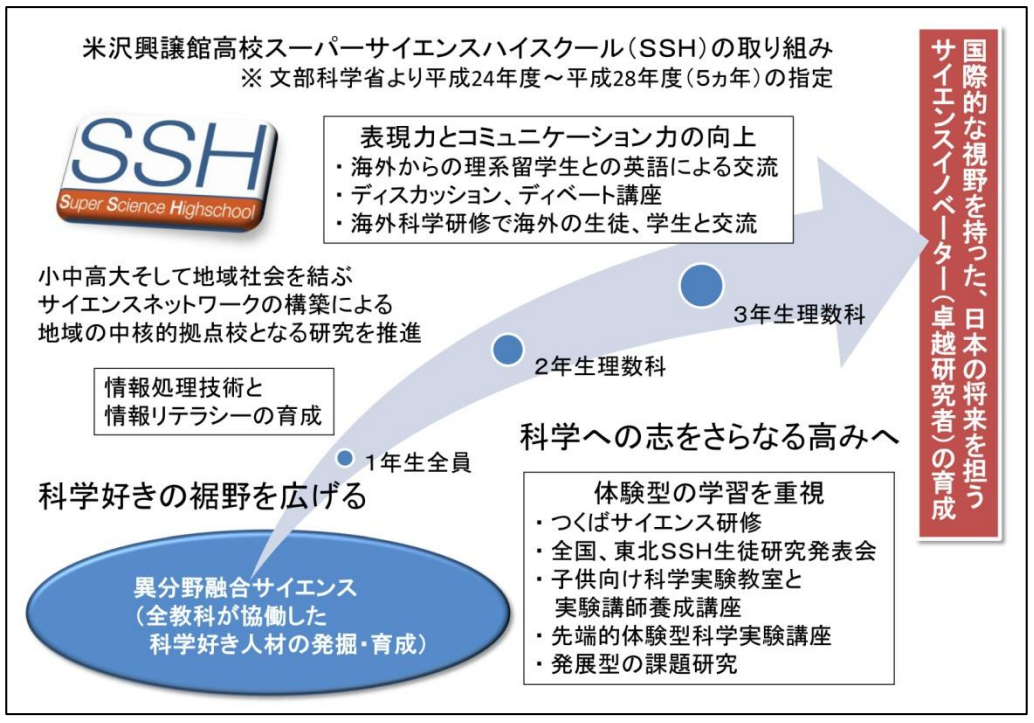
米沢興譲館高校 スーパーサイエンスハイスクール SSH通信



右図は本校ＳＳＨカリキュラムデザインである。１年生段階では様々な体験を通して、科学好きを増やし、科学好きの裾野を広げるような展開となっている。左図は本校ＳＳＨでの１年生の１年間の学びを模式的に表したものだ。御覧いただけるように１年生での学びの柱は異分野融合サイエンス（ＦＳ）である。毎月１回程度の自らの興味・関心に基づく選択制によるコース別講義・研修が行われ、それらの学びを表現手法を体系的に学び、実際に発表する。本回では、それらの学びや首都圏を中心としたサイエンス研修（ＴＳＴ）について特集する。



異分野融合サイエンスと東京サイエンスツアー

東京サイエンスツアー（ＴＳＴ）に参加して

１年女子生徒（沖郷中出身）

１２月２８日～２９日に行われたＴＳＴに参加して、私は今までで１番、密度と濃度の濃い２日間を経験しました。私は１人で行動するのがあまり得意ではありません。センタープリターの方に自分で質問をして、答えていただくという経験は初めての体験でした。しかし、いつもの授業とは違い、自分が分からないところを質問して、詳しく答えていただき、理解することができて、嬉しかったです。展示を見ただけではわからないことを本当にたくさん教えていただけたので、その分野（生物）に対する見方が変わりました。

ＴＳＴでは貴重な体験ばかりでした。「楽しかった！」というのもありますが、私が一番感じているのが、「自分の好きな分野を研究する」ことの面白さです。興味のある分野をより深く学ぶためにも、これからは自分の知識を広く深くしていこうと思いました。このような体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

国立科学博物館前での集合写真

ＦＳコース別講義・研修「つながりの科学」

１年女子生徒（米沢四中出身）

ＦＳ数学コース「つながりの科学」では、山形大学の田中敦准教授から、グラフ理論を中心にお話をお聞きしました。私が特に興味をもったのは「スモールワールド現象」です。この現象は、「世間は狭い」という言葉を実験によって表わしたものです。２～３人を間に介せば全く知らない人とでも「つながる」ということに驚きました。

私は来年度、普通科文系を希望しています。そのため、初めは「数学」と聞いて少し身構えていました。しかし、ＦＳで学んでいくうちに、科学の知識は文系・理系関係なく様々な分野で必要だと思うようになりました。これからは科学の知識もしっかり身につけていきたいです。

異分野融合サイエンス（ＦＳ）コース別講義・研修「つながりの科学」コースの活動

042 山形県立米沢興譲館高等学校ＳＳＨ事務局
URL　http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/　Email　yyonekojo@pref-yamagata.ed.jp
〒９９２－１４４３ 山形県米沢市大字笹野１１０１番地　℡０２３８－３８－４７４１（代表）